

指導教員名	山本 隼年
-------	-------

活動区分	商品開発型	連携先	企業

～ チューングリッドの新たな活用方法の提案 世界のアシックス:TUNEGRIDで更なる高みへ ～

活動の様子



TUNE GRIDの活用に向けて加速度計を用いた実験の様子:歩行、ジョギング、ランニングの識別に向けた実験

企画・活動概要

- ①フィールドワーク(2023年10月18日実施):アシックススポーツミュージアムを見学するとともに、担当者の方から今回の取り組みにおけるテーマなどについての説明を受けた。
- ②中間プレゼンテーション会(2023年11月15日):現状分析、データ収集、コンセプトからターゲット層をまとめ、TUNE GRIDの活用方法を提案した。担当者の方から企画に対するフィードバックを受けた。
- ③最終プレゼンテーション会(12月23日):具体的かつ実現性の高いTUNEGRIDのスポーツでの活用方法を提案した。

経緯・背景・目的

ト1グランプリとは、本学が2009年から行っている『課題解決プログラム』。社会に新しい価値をもたらす変革(イノベーション)を興す知恵を備えた人材育成を目的として、企業が直面している課題を学生らしい視点やマーケティング手法を活用して解決・提案する企画。今年度の協力企業は、アシックス商事株式会社で、同社商品のTUNEGRIDの新たな活用方法を提案するというテーマが設定された。当イベントは、流通科学大学の学内外から様々な学びをする学生・生徒が挑戦する。

取り組む課題

- ①人間健康学科で学んだトレーニング科学の応用
- ②実験計画、データ計測、分析、考察など研究の一連の流れを習得する
- ③コミュニケーション技法の実践演習



フィールドワークの様子

本学(学生)の役割

- ①マーケティング:市場分析、機器の分析
- ②実験:3軸加速度計を用いたランニング強度分類のための予備実験
- ③発表:中間プレゼンテーション、最終プレゼンテーションに向けてのスライドの作成、当日のプレゼンテーション

活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

- ①人間健康学科で学んだトレーニング科学の知見の実践への応用
- ②3軸加速度計を用いた実験方法やデータ分析方法
- ③プレゼンテーションに向けたスライドや発表方法のスキルなどが向上した



予備実験の様子:下腿に3軸加速度計を設置し、ランニングを行った

指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

人間社会学部
人間健康学科
講師
山本 隼年(ヤマモト ハヤト)

<専門・担当科目等>
専門:トレーニング科学
担当科目:健康運動科学理論・実習、
トレーニング科学理論・実習

<関係者・企業等>

アシックス商事株式会社